



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和5年12月8日
第21号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

ふくしま情報モラル診断 ご協力ありがとうございました

未来を担う子どもたちが情報社会で適正に活動する基礎となる考え方を身に付けるため、福島県において「ふくしま情報モラル診断」が作成されました。ここで取り上げられているものは、子どもたちが身につけておくことが望ましいとされる内容はもちろんのこと、将来にわたって活用できる能力も育む内容となっております。二小では児童用を8月に実施しました。学年に応じて、下のような問題が10問出題されます。



ゆうめい つうはん しはら かくにん き
有名な通販 サイトから、「支払いが確認 できません」というメールが来
 ました。しかし、今 注文 しているものはありません。どのようにするこ
 とが望ましいでしょうか？ **79%**

① メールに書かれているリンクを開いて確認 する
 ② メールは開かず保護者に相談 してすぐ削除 する
 ③ 保護者に相談 してすぐ支払うようにする

(正答)
 ② メールは開かず保護者に相談 してすぐ削除 する

〈この問題では二小児童の正答率は79%でした〉

また、この診断には保護者の皆様へご協力をお願いするものもあり、二小では9月1日付け配付文書にて、ご協力を依頼していたところでありました。たくさんの方にご回答いただき、感謝申し上げます。結果を基に指導に生かしていきたいと考えています。

この取組は学期ごとに行うことになっています。子どもたちにとっても、継続して行くことで知識を身につけていけるものと思われま。保護者の皆様へもまたご協力をお願いするこになりますので、可能な範囲で結構ですのでどうぞよろしくお願いいたします。



読書量が増えています

11月は読書指導に力を入れようと、先生方が学級の実態に応じた指導や環境づくりを行ってきました。

その結果、1か月に読んだ本の数が昨年同月と比べて、大きく増えました。

令和4年度磐梯二小11月	⇒	令和5年度磐梯二小11月
一人平均 10.9冊		一人平均 30.6冊

大切なのは、本に親しんで知識を得たり心が豊かになったりすることですので、冊数はあくまでも目安です。それでも、これまでよりも読書量が増えていることは素晴らしいことだと思います。この要因の一つに、タブレットの「Yomokka!」の活用も挙げられます。手軽に読みたい本を探せることが、子どもたちに好評です。タブレットを持ち帰っても何をやればよいか…という時に、ぜひ「Yomokka!」での読書をすすめていただければと思います。



「長なわとびコンテスト」記録閲覧方法

福島県教育委員会主催「長なわとびコンテスト」において、現在、磐梯二小の各学年が上位にランクインしています。1月末日まで随時記録が更新されます。そこで、磐梯二小ホームページの「お知らせ」に、コンテスト公式ホームページのリンクを貼りました。磐梯二小ホームページのこの画面から入り、ご覧ください。

お知らせ

※ 福島県教育委員会主催「長なわとびコンテスト」において、磐梯二小の各学年が上位にランクインしています
↓ (公式ホームページへ)

<https://f-kenkou-nawatobi.jp/long/?c=1>

・ 1月末日まで記録が更新されます。応援よろしくお願いします!



4学年のみ「10～25人の部」、それ以外の学年は「9人以下の部」となっています。記録を見ながらご家庭で励ましていただくと、お子さんも意欲が増すものと思われる。応援よろしくお願いします!

なお、こちらでもURLを紹介します。↓

<https://f-kenkou-nawatobi.jp/long/?c=1>

ちょっといい話 30

最近、1、2年生が収穫したサツマイモを調理して全校生にふるまったり、3年生がりんご園でいただいてきたりんごを他の学年の子どもたちにもあげたりということがありました。そんな時、二小の子どもたちは「0年生にお礼の手紙を書こう!」と自分たちで工夫して書いて、その学年に渡しに行きます。はじめは先生方が提案していたのですが、今では自分たちで考えて動き出すようになっているところが二小の子らしさであり、とても嬉しく思います。

